

第二六四回松山市観光俳句ポスト

第264回開函

「虎杖」主宰 相原 左義長 選

特選三句

小雪舞う街は松山卒業旅行

東京都三鷹市 河崎 初夏

初雪と旅信したため道後の夜

愛媛県新居浜市 神野 茂子

子規も虚子も仰ぎし空か天高し

島根県隠岐郡 橋本 貴美子

入選二十句

冬晴や松山の城子規の町

広島県福山市 池上 幸子

子規の世をたどる松山年の暮

奈良県葛城市 井上 隆章

長生きがはたして幸か子規忌かな

愛知県名古屋市 岩崎 誠哉

坊ちゃんも浸りし道後師走くる

東京都世田谷区 榎並 俊一

時雨や人が消え行く松山城

愛媛県大洲市 鎌田 文俊

女旅霊の湯窓に秋の風

三重県伊勢市 河之口 典子

春の陽の路面電車で道後まで

福岡県福岡市 木村 潤二

城眺む道後の朝湯春浅し

神奈川県横浜市 鈴木 康夫

子規堂の玻璃戸を叩く初霰

神奈川県横浜市 月野木 麻里

春日さす愚陀仏庵の手あぶりに

奈良県奈良市 西尾 紀子

日脚伸ぶ「子規と野球」の看板見ゆ

京都府京都市 細見 和一

野分雲子規の享年三十五

奈良県天理市 松田 吉憲

地麦酒に地魚師走の大街道

長野県松本市 矢部 正之

正月の松山歩き筋肉痛

広島県福山市 山本 るみこ

秋の松山帰るまでが旅だから

東京都葛飾区 吉村 寛子

夕映えに松山城は春化粧

東京都府中市 柴田 弘道

(市内)

白い息心温もる道後の湯

愛媛県松山市 白賀 悟

初雪も雨となりゆく道後の湯

愛媛県松山市 平岡 孝

(十五歳以下)

どうご湯でいいないなとお父さん

徳島県徳島市 秋信 茶帆

雪の中松山城がそびえたつ

愛媛県松山市 中山 天慎

投句総数

一四八四

市外

一〇三九

市内

四四五

投句者総数

八二三

市外

六〇八

市内

二一五

開函日 平成二十六年一月三十一日